

認定 NPO 法人 行徳野鳥観察舎友の会 会報 第 2 2 2 号

すずがも通信

2017
2月

2017年2月12日 発行

ISSN 2185 632X



「ミサゴ」撮影：石川一樹

保護区作業

～〇〇しました！～

野鳥病院日誌

～絶滅危惧種ミソゴイ～

3つの秘密組織!?

植物班・虫班・キ/コ班

海苔を作ろう！マイハルティークング
/フィールドミュージアム

「日本鳥類標識協会全国大会」

千葉・市川大会

巣箱かけ/保護区の鳥の様子/友の会あいさつ

☆11・12月の保護区作業～〇〇してました～☆

～浄化池・植生コントロール～



保護区内の湿地は放置しておくとアシやガマなどの植物にどんどん覆われてしまいます。そういった環境を好む鳥もいるものの、シギやチドリといった鳥が好む開けた浅い水域を確保するため、毎年冬場には湿地の一部で水を止めて湿地を干上げ、草を刈った後トラクターやユンボなどを使い植物の根を切ることで植生を押さえるという作業をしています。

今季は浄化池の4系列で作業中。雨で足場が悪くなると重機作業ができなくなるので天候にも左右されますが、うまく行けば春の渡りシーズンに何か立ち寄ってくれるかも？

(写真は2017年1月3日、トラクターによる植物の抑制。

上が作業前・下は作業後)

(山口 誠)

野鳥病院目誌

2016年11月～12月版 第1号 担当:栗子の母

各地で鳥インフルエンザの発生が相次ぎ、野鳥病院でも千葉県からの指示によりリスク種の鳥は受け入れないことになりました。

おかげで野鳥病院の鳥の入所数はガクッと減りましたが、せっかくご好意で鳥を保護してくれている方を断るのはとても心苦しいところ……。早くこの鳥インフル騒ぎが落ち着くことを祈るのみです。

さて、現在野鳥病院には鳥インフル騒ぎの前に入所した絶滅危惧種の「ミゾゴイ」(サギの仲間)がいます。この鳥は断翼(翼の切除)したため終生飼育が決まっています。入所当時は前を通っただけで首の後ろの羽をブワッと広げて怒ってばかりいましたが、今では餌を持っていくと「あっ、ご飯なの？ 待っていたよ～♥」と嬉しそうに近寄ってきます。この鳥は近年とても数を減らしている貴重な鳥です。一応この鳥もリスク種ということになっているので、鳥インフルが終息しないと無理な話ですが、早く動物園にでも引き取ってもらい、種の保存研究などに役立ってもらえたら。そして、広々としたよい環境の中で仲間と一緒に幸せに暮らしてほしいと切に願うのでした。

なお、大好物のミミズの差し入れ大歓迎！ ミゾゴイが首をながーくして待っているのどうぞよろしく！！

お知らせ

フラミンゴ4コマ漫画は前号をもちまして無期限の休載となりました。
ご愛読ありがとうございました！

秘密の組織!?

◎植物班・(昆)虫班・キノコ班◎

保護区内の生き物の調査活動をする3つの班。保護区にどんな種類の植物・虫・キノコが生息しているのかを地道に調べつつ発信していきます。会員や有志の皆さんが多く活動に参加して下さっています。皆さんも一緒に活動してみませんか？

植物班

なんと2011年3月12日が植物班として初めての調査でした。

大震災の翌日！あちこち亀裂が入りそこいらじゅう水浸し。植物の名前を教えていただいている柳澤さんが入間市からよくいらしたものだ、いまさらながら感心します。

毎月3～4回保護区内を歩いて咲いている花をチェックし花暦(はなごよみ)を作りました。また全ての植物を4点ずつ採集し(希少種は別)、標本にしました。約2300点本標本を作製。観察舎が閉館になったので、約1500点は千葉県立中央博物館に寄贈し、残りは市川自然博物館に行く予定です。今年はまとめの小冊子を作る予定！乞うご期待！ (メンバーSさん)

(昆)虫班



←いきなりクモですが・・・。

(昆)虫班は、行徳鳥獣保護区にはどんな虫たちがいるのか調べてみようということで2015年4月に活動を始めました。「昆」の字にかっこがついているのは、昆虫ではないクモ類も調査したかったからです。現在500種類以上の虫が見つかっていて、まだまだ増える見込みです。同定作業は、楽しくもあり苦しくもあり。未発見の虫が見つかって、なおかつ名前が分かると、喜びもひとしおです。これからも地道に地味に活動を続けていきたいと思っています。

(メンバーKさん)

キノコ班

始動!

今年から保護区のキノコ(菌類)を探索する「キノコ班」を立ち上げます。2017年度は3～4月ごろから月1回程度のキノコ調査と、外部講師をお願いしての観察会を2回程度、開催する予定です。キノコ好きな方、ぜひご参加ください♪随時こちらでも活動を紹介していきます。

(メンバーNさん)

観察舎休館から1年過ぎて・・・からの？

新年あけましておめでとうございます。

せわしい年末年始がすぎ、きびしい寒さの中に小さな春を感じるこの頃です。

12月23日、24日の日本鳥類標識協会大会は、観察舎が使えない中で南行徳市民談話室の多目的ホールをお借りすることができました。スタッフ含め100名以上の参加者で盛り上がり、全国から参加された皆様に暖かい励ましの声を頂戴しました。25日のしめ飾りづくり、元日の新春自然観察会とも、大盛況でした。

観察舎の無期限休館はつづいており、本稿執筆時点（29年1月6日）でも、具体的な動きは公表されていません。行政改革審議会で「観察舎は廃止」という方向が示された以上、観察舎あるいはそれと同趣旨のものをすぐに再建するという事は、簡単ではないのだろうと考えます。たくさんのパブリックコメントや全国からの声に耳を傾けていただき、県に協力を表明している市川市との調整が円滑に進むことを望みます。（清水 大悟）

新すずがも通信 始動！

ついに始まりました、新すずがも通信！全ページカラーで写真による情報をより一層正確にお伝えすることが可能になりました。新会報に伴い、編集部も一新。まだまだ未熟ですが、楽しく読んで頂けるよう頑張っています！（編集部一同）

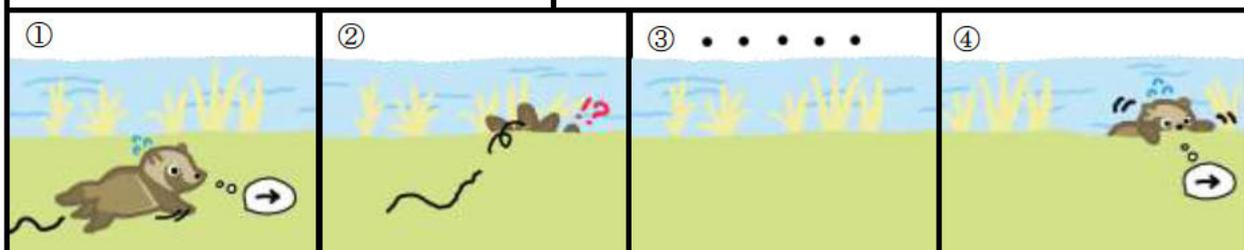
ちょっと一息。。。。

数年前に野鳥病院から野生復帰をしたゴイサギが、今年も病院前の木にねぐらを決めたようです。木の下に白い絵の具・・・上を見たらゴイサギにあえるかも？絵具爆弾には十分ご注意ください！

去年の夏ごろから、通称水路（野鳥病院前の丸浜川岸边）でフラフラ？動くタヌキが出没。生まれつきの障害と思われ、まっすぐ歩くことが困難です。最近見なくなっていて道行く人に心配されていましたが、保護区で元気にやっていることがわかりました。一安心です。野生の力強さを垣間見る瞬間でした。

観察舎前の遊歩道に立ち並ぶセンダンとトウネズミモチにはヒヨドリとムクドリが大挙して押し寄せています。ふと気づくと見る見るうちに減っていく実。彼らが去った後は枝しか残りません・・・。この時期の彼らの食欲には驚かされるばかりです。（ゆきおんな）

ふらふらタヌキのある日～七転び八起き～



2016年11月から12月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で64種を記録しました。毎年、11月に入ると観察舎前の丸浜川はカモメ類やカモ類で賑やかになるのですが、今冬は給餌制限のためか、カモ類、オオバンはあまり入らず、とくにオナガガモは12月に入るとほとんどいなくなりました。

一時、1000羽を越したスズガモは減り、11月後半以降は30羽前後になりました。

例年と比べるとカワウの繁殖開始がいつもより遅く、12月下旬にようやくディスプレイなどが見られるようになりました。また、オオジュリン、アカハラ、シロハラが例年に比べて少ないようでした。

今冬は保護区では珍しいオオハシシギが滞在しました。

水鳥類

オカヨシガモ
ヒドリガモ
マガモ
カルガモ
ハシビロガモ
オナガガモ
コガモ
ホシハジロ
キンクロハジロ
スズガモ
ウミアイサ
カイツブリ
カンムリカイツブリ
ミミカイツブリ
ハジロカイツブリ
カワウ
ゴイサギ
アオサギ
ダイサギ
コサギ
バン
オオバン
タシギ
オオハシシギ
アオアシシギ
イソシギ
ユリカモメ
ズグロカモメ
カモメ
セグロカモメ

猛禽類

ミサゴ トビ
チュウヒ ハイタカ
オオタカ ノスリ
ハヤブサ

その他小鳥など

キジバト
カワセミ
コゲラ
モズ
オナガ
ハシボソガラス
ハシブトガラス
シジュウカラ
ヒヨドリ
ウグイス
メジロ
ムクドリ
シロハラ
アカハラ
ツグミ
ジョウビタキ
スズメ
ハクセキレイ
セグロセキレイ
カワラヒワ
ベニマシコ
ウソ
シメ
ホオジロ
アオジ
オオジュリン
ドバト

ニュース

『オガワコマドリ飛来!』



確認 12/14のみ

別の鳥を撮ろうとしたら、入れ替わりにこの子が「撮ってくれ」と言わんばかりにレンズにおさまりました。でも一瞬でさようなら…。奇跡の一枚です。(調査ボランティアKさん 談・写真提供)

『オジロビタキが「ちらっ」』



確認 12/7のみ

周辺緑地でスタッフが確認。枝の隙間から覗いたような写真しか取れず…。識別ポイントをまるっと隠した、ある意味奇跡の一枚です。(スタッフS撮影)

イベント報告

楽しく学べる!

行徳生物多样性 フィールドミュージアム

1月は
お休み

保護区内の生き物を実際に観察しながらプロの先生と一緒に学んでいきます

12/6 (火) 「少数派のための My 海苔作り教室～マイノリティーチング～」



今回は番外編で昔ながらの海苔すき体験を行いました。講師は福田海苔店の福田武司さん。保護区に仕掛けてあった海苔網を引き上げ、きざんだ海苔を水と一緒に海苔簀(のりす)という容器に流し込み、容器の枠を外して水を切り海苔簀ごと干します。直接日光に当てないのがポイントだそう。2時間ほどで乾いて完成!

苦節6年でようやくの初板海苔。途中から風が強くなってきてちょっと心配でしたが、乾くときにパチパチと音が鳴り、目と耳と舌で参加者一同楽しめました。

とても美味しかったです! (野長瀬 雅樹)



次回

☆1年間の活動報告会を3月11日(土)15～17時(会場未定)開催。

☆《江戸前干潟研究学校》4月9日(日)10時～

↳干潟にどんな生き物がいるのか、捕まえて調べます。ウナギが見つかるかも?

※次回以降の内容・日付け等は友の会メールか下記連絡先にてご確認ください。

【行徳野鳥観察舎 047-397-9046】

巣箱かけ

12/4（日）「巣箱をかけてみよう」

森林性の小鳥であるシジュウカラを対象に営巣場所を提供しようという試みです。

巣箱の最後の1板を付けて完成させ、自分のものと分かるよう絵を描いてもらってから設置しました。設置場所は丸浜川沿いの通路に11箇所。親子5組12名が参加されました。今後はメンテナンスや利用確認などをしていく予定です。

来春利用してくれそうですよ！



12/23・24日 第31回 日本鳥類標識協会全国千葉・市川大会

毎年開催される、各地で活躍されている方々の研究発表の場である本大会。今年には観察舎友の会が実行委員会を担当しました。「水鳥・海鳥の標識調査」をテーマにしたシンポジウム、各地で精力的に標識調査をされている方々11名による講演、そしてエクスカージョン（体験型見学会）では行徳保護区を中心に東京湾岸野鳥施設めぐりなど3種類の見学が行われました。無事大成功で終わることができ、ご参加の皆様、ご協力頂きました各施設の皆様、お手伝い下さった皆様には感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました！

<会場の様子>



全国各地から約120名の参加者がありました。

（佐藤 達夫）

日本鳥類標識協会ってなに？

野鳥の脚に標識となる脚環を付けて、詳しい生息地や渡りのルート・寿命などの生態を調べることを鳥類標識調査(バンディング)と言います。(以下協会ホームページより) 日本鳥類標識協会はバンディングの健全な運営と発展をはかるとともに、鳥学および鳥類の保護・管理に寄与する事を目的とし、1986年(昭和61年)2月に発足しました。

♪♪♪ イベント案内 ♪♪♪

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第4土曜)

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか？



←11/26(土)

脱穀・藁すぐり
(参加3名)

12/24(土)

水路の落ち葉かき
(参加9名)

(次回) 2/25、3/25(土) 13時～16時ごろ

集合：行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。お楽しみに！

開催日の3日前～前日に下記連絡先(観察舎)にて

●3/4(土)～ ミニガイド(毎週土曜)

生き物の魅力を知るきっかけに。

観察舎前に流れる丸浜川沿いの自然観察や、野鳥病院の案内など。

時間：13時半～14時

集合：行徳野鳥観察舎前

●4/8(土) 桜の観察会

保護区にはどんな桜が咲いているの？

桜の観察をしながら保護区内を巡ります。ちょっとしたお花見気分も味わえるかも♪

時間：①10時～ ②13時半～ 計2回

集合：行徳野鳥観察舎前

参加費 200円(花ごよみ無料配布)

定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集合：行徳野鳥観察舎前 13時半／解散 15時半

★定例新浜探鳥会(毎月第2日曜日) 3月12日、4月9日

集合：行徳駅前の広場(改札出て左) 10時 持ち物：昼食、飲み物、帽子

参加費：200円(18歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代400円(子供200円)

・「新浜保護区コース」保護区内→観察舎前／解散 13時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川放水路まで→保護区内→観察舎前／解散 15時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京支部、千葉県野鳥の会

★夕暮れ観察会(毎月第4土曜日) 2月25日、3月25日、4月22日

集合：行徳野鳥観察舎前 16時半／解散 18時半

●平日観察会(第1木曜日 ※祝日の場合は翌週) 3月2日、4月6日

集合：行徳野鳥観察舎前 10時／解散 12時

【行事に関する問い合わせ：行徳野鳥観察舎(047-397-9046)】

すずがも通信 No. 222(隔月発行) 2017年2月12日発行 *****

発行所

認定特定非営利活動法人行徳野鳥観察舎友の会

[千葉県行徳野鳥観察舎 〒272-0137 市川市福栄4-22-11 ☎047-397-9046]

E-mail tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

URL <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>

年会費

- ・普通 2000円 ・電子 1000円
- ・ジュニア(18歳以下)500円
- ・賛助 3000円以上
- ・法人・団体 10000円以上

編集 鈴木陽子

印刷 株式会社プリントバック



Twitter



Instagram